

今、話題のスマートハウス!!

Smart2030 零和の家®

限りあるエネルギー資源を賢く利用し、電気代も削減できる住まいのカタチとして話題のスマートハウス。そんなスマートハウスの中でも今回ご紹介する「Smart2030零和の家®」は、自然エネルギーを活用するパッシブ設計を基本とし、最先端の設備機器によるきれいな室内環境や災害時のレジリエンス性能を備え、ライフプランの変化にも対応できるなど、あらゆる面で優れたスマートハウスだ。注文住宅の選択肢としてぜひ検討してもらいたい。



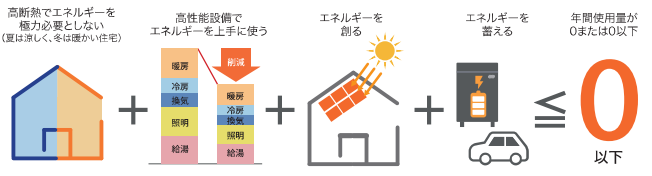
スマートハウスとは?

スマートハウスは、太陽光パネルで電気をつくり、その電気や夜間電力を蓄電池に蓄え、HEMS (Home Energy Management System) というシステムを用いて家庭の設備や家電をコントロールして、消費エネルギーを最適化する住宅のこと。HEMSによりしっかりと管理することで、エネルギー消費量の見える化を行い、無駄を削減できる。低炭素社会の実現に向けた次世代の住宅として注目されており、家計と環境に優しい暮らしを実現してくれる。

スマートハウスの中でも Smart2030 零和の家® がスゴイわけ!

さまざまな住宅メーカーが手掛けるスマートハウスの中でも、今回ご紹介したいのが「Smart2030零和の家®」だ。まずは家族が健康的で健康的な暮らしを送れるよう、なるべく機械に頼らずに自然のエネルギーを活用するパッシブ設計を採用し、室内の空気環境は気圧調整式第一種全熱交換気システム「エクリア (AIR CREAR)」を用いて給気する空気量が多く、排気される空気量が少ない「正圧」の空気環境を実現。高い断熱性能も併せ持ち、足元から天井まで全室同じ温度・湿度で暮らせる快適な空間に。さらに、家

じゅうの空気を2時間に1回入れ替えてくれるので、コロナ禍でも安心だ。また、EV車専用パワーコンディショナ (V2H) との接続でEV車に最大6kWの電力を充電、家への給電が可能に。災害時には「家が避難所」として活用できる。このほかにも、暴風雨を防いでくれる壁やブラインド、長雨警報発令で非常時に備える機能を持つ災害予報連動クラウドHEMSなど、レジリエンス性能の高い設備を完備。長期優良住宅にも認定されている高性能で住宅資産価値も高いスマートハウスなのだ。



Smart2030 零和の家® を詳しく解説!

- 1 Smart2030 零和の家® の魅力をモデルハウスから分析! P10
- 2 Smart2030 零和の家® を広島で建てるなら? P14
- 3 住み始めてからのお金の話 P16
- 4 住み替え型住宅を提案するための新たな住宅の資産価値 P18
- 5 Smart2030 零和の家® を建てる会社を紹介 P19



POINT 9

使い勝手の良いキッチン回り

キッチンを中心にしてLDKの中心に置くことで、料理をしながらでも家族の様子を見守ることができる。カップボードの収納もたっぷり設け、パントリーには食品や日用品、万一の備蓄・防災ストックとして飲料や食料を蓄えておくことができる。

暮らしやすさを考えた プランニング



POINT 10

スマートな家事動線

キッチンから脱衣・乾燥室、浴室への動線を一直線にすることで家事の負担を軽減してくれる間取り。脱衣・乾燥室で夜のうちに干した洗濯物は正圧の空気で朝には乾いた状態に。収納もあるので、洗濯物をその場でたたんで引き出しにしまえて家事負担も軽減。スロップシンクは汚れた靴などつけおき洗いに便利。



POINT 11

テレワークや宿題ができる場所

ダイニングの脇にテレワークや子どもたちが宿題をするカウンターを設置。また、畳スペースに設けた“家族の図書館(本棚)”は子どもたちの本を読む習慣を自然と育ててくれる。

パッシブ設計と 温度管理

POINT 6

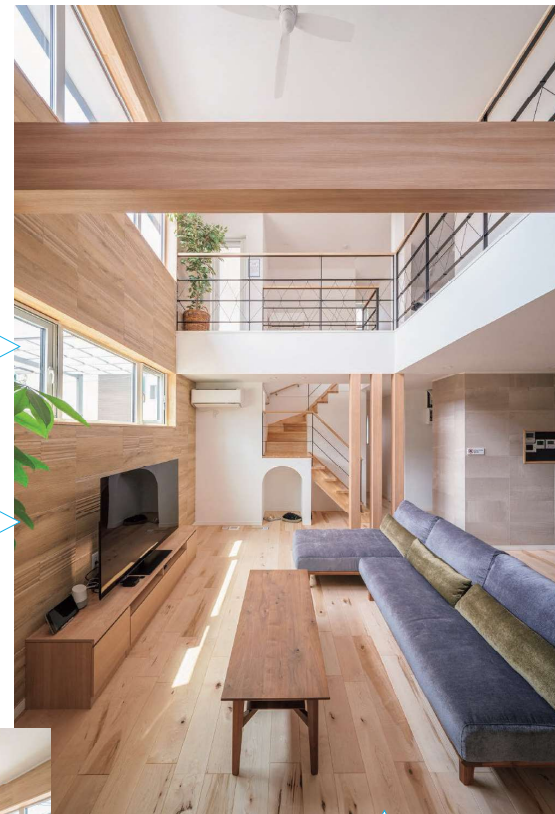
パッシブデザイン

夏の直射日光は軒の庇が通り、冬の暖かい日差しは2層のFIX窓を通して建物の奥まで入るように設計。気温が最も高くなる大量の時期の入射角70度の太陽の日差しは外付けブラインドで遮る。

POINT 7

気圧調整式 第1種全熱交換気システム

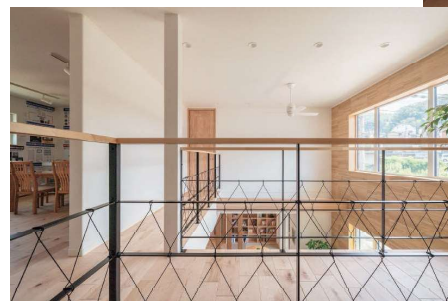
高気密性能で空気浄化力の高い独自の気圧調整式第1種全熱交換気システム「エクリア」により、気圧、温度、湿度を24時間管理し、1年中快適な室内環境をつくり、健康で安全な暮らしを実現。



POINT 8

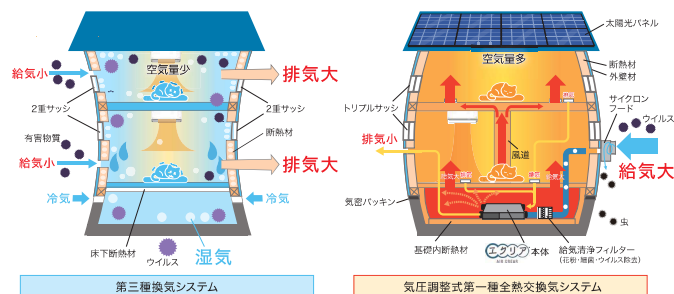
自然光を取り入れた空間

吹き抜けに明り取りのFIX窓を2層にわたって取り付けるなど、十分な採光によって日中は照明を点けなくても明るい空間を実現。電気を極力使用しないスマートな暮らしへ。



家じゅうの気圧を高めた 健康な暮らし

気圧の変動で健康が損なわれる気圧病。特に昨今は異常気象による低気圧が原因で頭痛や血圧障害が発生しているという。これらは室内の気圧も影響しており、気圧調整式第1種全熱交換気システム「エクリア」によって「正圧」という室内の空気の圧力が室外より高い状態を保つこと(室内を空気でいっぱいにする)が可能になります。



ウィルスが室内に 侵入させない住環境に

給気清浄フィルターで0.5μmまでの細菌を除去した空気を取り込み、「正圧」の状態を維持しているので、ウィルス抑制正圧空気環境を保てる。また、足元から天井まで1年を通して同じ温度、湿度を維持できているのも、家族が健やかに過ごせる秘訣だ。



外気の影響を受けずに 安全な空間で洗濯物を乾かす

家中の「正圧」の空気は脱衣所に集められるので、雨の日に乾きにくい洗濯物もこの家では乾きが早い。さらに、花粉やPM2.5、ウィルスも除去された空気なので安心して部屋干しができ、脱衣室は家事を助けてくれるハウズドローリーと



有限会社アーキ・フロンティアホーム
千田モデルハウス
Smart2030 零和の家®
〒720-0017 福山市千田町1-34-36-1
☎084-970-0121

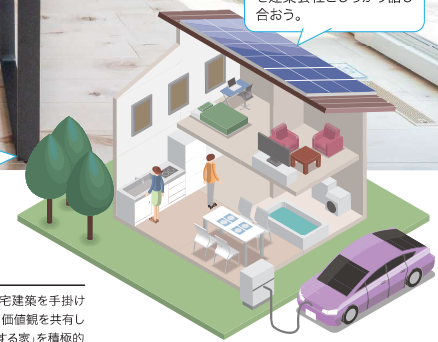
Smart2030 零和の家®を 広島で建てるなら？

数十年先の将来を見据え、家族が安心して安全で快適に暮らせるSmart2030 零和の家®を
広島で建てたいと考える方に、実際に設計・施工を手掛ける側から感じる魅力や、地域性を踏まえた留意点について伺った。



どこまで取り入れる？
過剰スペックになりすぎないよう、家族に最適な仕様を建築会社としっかり話し合おう。

安心して
長く住み続けられる家
末永く安心して住み続けられるよう、着実な施工で確かな品質の家を形に。



Profile

大工出身で広島に長く根差しながら多くの住宅建築を手掛ける。お施主様としっかり意思疎通を図ることで、価値観を共有しながら末永く安心して住み続けられる「長持ちする家」を積極的に提案。目先のことだけでなく、長期的な視野に立って、エネルギーコストとランニングコストを冷静に比較するなどして、住宅性能が高く家族の利益につながる家づくりを実践し続けている。



教えてくれた人

株式会社アルク
代表取締役
原畑 基宏氏



Smart2030 零和の家®の魅力とは

大工として広島の家づくりに関わり続けてきた原畑さんは、「SDGs が世界的に推奨されている今、災害の多い日本に暮らす私たちにとって、Smart2030 零和の家®は実に大きな可能性を秘めたスマートハウスと、大きな期待を寄せている。

パッシブ設計と「エコリア」による温度管理で、断熱・省エネ性能が高く、きれいな空気環境の中で家族が健やかに暮らせることを筆頭に、エネルギーの自給自足ができ、非常時でも通常に近い暮らしを可能にするレジリエンス性能、住み替えを見据えた資産価値の高さを備えたSmart2030 零和の家®は、今後注目度も高くなっていくと予想。そうして「長持ちする家」を建て、末永く住み継いでもらえる家を生み出すことは、大工冥利に尽きることだろう。

また、「家」を建てる側の私たちがバレットとデメリットの両方をお客様に正しく伝え、理解してもらいながら家づくりを行っています。エネルギーコストだけでなく、長期的な視野から見たランニングコストなども正しく理解していただけでなく大切だと考えています」と、Smart2030 零和の家®に対する価値観を共有できるかどうかが重要であることも、原畑さんは施工を担う者として強調している。

広島的气候と住まい手に合った提案

Smart2030 零和の家®は、東北地方の厳しい寒さから住む人を守るような高いレベルの断熱性能を備えているが、例えば温暖な気候の地域がある広島で建てる場合、必ずしも同じレベルのハイスペックな性能は求めなくても良いと考えるケースもあるのではないかと原畑さんは言う。

フマホの機能と同じく、ハイスペックな性能を備えた家をお客様がどれだけ理解して使いこなせるかが大事になってくるのではないだろうか。

太陽や風など自然の力を活用したパッシブ設計を基本としつつ、家族のライフスタイルを踏まえた上で、わが家ではこれは導入しなくてもいいかな」と思えるものがあれば、相談した上で外しても良い場合もあるという。

建築を予定する土地の周辺環境を考慮したパッシブ設計を行う上でも、原畑さんのような地元広島的气候風土に精通する建築パートナーであれば、適切なアドバイスをしてもらえそうだ。



職人たちの連携と技術で確かな品質の長持ちする家を

「どんなにハイスペックな性能と設備を備えたSmart2030 零和の家®でも、確かな施工力がなければ仕様通りの性能を発揮することは難しい」と原畑さん。例えば、Smart2030 零和の家®にとって高い気密性を実現することはかなり重要な職人たちの技術力が不可欠となる。大工の力はもちろん、水道工事や電気工事を担当する職人さんたちの力量も問われます」と原畑さん。

例えば、配管を通すために壁に穴を開ける際、配管と穴の間に隙間ができたまままだと空気が屋外に漏れ出してエネルギーロスにつながり、屋内の気密性も想定より落ちてしまうため、これではせっかくのハイスペック住宅も性能を最大限発揮することができない。そうしたことを理解した上で、隙間をシリコンでしっかり潰すなど、いらない仕事も職人に求められ、職人同士がうまく連携しながらそれぞれの仕事を全うすることが必要なのだという。また、数多くの設備を採用しているため、電気系統の配線や配管が複雑で、施工する職人にも高いレベルのスキルが求められる。

地元での家づくりに精通する建築会社と、確かな施工力を持つ職人の存在が、末永く住み継いでいけるSmart2030 零和の家®の建築を支えている。